

平成24年シーズンのスキー客入込状況について

平成24年シーズン（平成23年12月～平成24年5月）における、県内のスキー場入込数を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

1 入込数 973,353人回（平成23年：852,718人回、平成22年：1,019,978人回）

2 比較

(1) 対23年比 120,635人回、14.1%の増加（営業日数は12.7%の増加）

(2) 対22年比 46,625人回、4.6%の減少（営業日数は9.1%の減少）

3 今シーズンの特徴

震災後初シーズンとなる今シーズンは、原発事故等による風評被害が懸念されていたところであるが、主要スキー場を中心に雪不足によりオープンが遅れたところがあるものの、**土日・祝日が好天に恵まれたことや、高速道路の無料化等により順調な滑り出しとなった。**2月前半は、前シーズンが3連休や天候等の条件に恵まれ堅調な集客であったのに対し、青森県や秋田県等日本海側を中心とした大雪の影響により**客足が鈍ったものの、2月後半以降は、東北エリアのスキー客の下支えにより回復した。**通期では、例年並みの集客には至らなかった。

【概況】

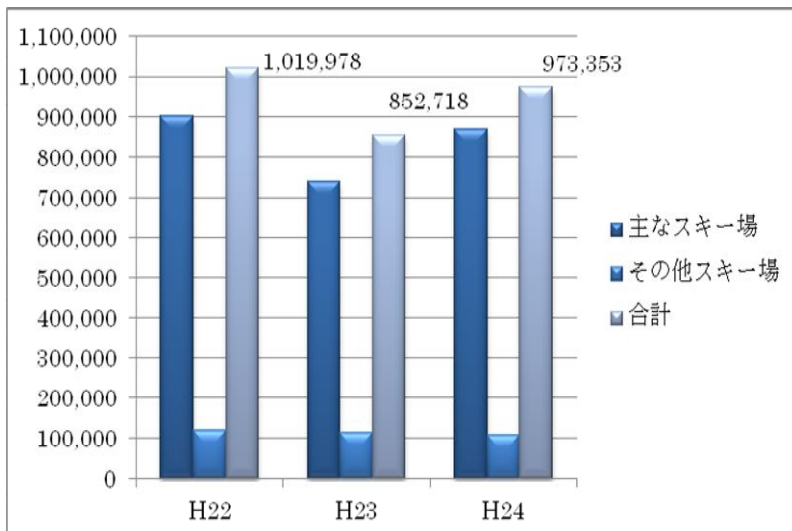
1 震災後初シーズンとなる今シーズンは、原発事故等による風評被害が懸念されていたところですが、主要スキー場を中心に雪不足によりオープンが遅れたところがあるものの、**土日・祝日が好天に恵まれたことや、高速道路の無料化等により、12～1月の入込数は、463,615人回（前シーズン比：15,114人回、3.4%増）**となりました。前々シーズンの同期は475,273人回であり、これには若干及ばないものの**順調な滑り出し**となりました。

2 2月前半は、前シーズンが3連休や天候等の条件に恵まれ堅調な集客であったのに対し、青森県や秋田県等日本海側を中心とした大雪の影響により**客足が鈍りました。**2月後半から4月は、東北エリアのスキー客の下支えにより**回復しました。**通期では、例年並みの集客には至りませんでした。

3 スキー客誘客は、本県の冬季観光振興にとって重要な取組であることから、いわてウインターリゾート協議会（事務局：株式会社岩手ホテル&リゾート）を中心に、関係市町村、東北観光推進機構等と連携を図りながら、**首都圏へ向けたPRのほか、豪州を中心に海外に向けての誘致活動に引き続き積極的に取り組んでいきます。**

また、若者を対象としたリフト料金優遇や、スキー以外の冬期観光素材掘り起こし等の取組も行いながら例年並み以上（通期100万人回以上）の入込数を目指します。

〔参考〕過去3年間の推移（単位：人回）



（単位：人回、%）

	H22	H23	H24
入込数	1,019,978	852,718	973,353
対前年比		▲16.4	14.1
対H22比			▲4.6